

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」



事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立南丹高等学校 】

<スポーツ庁テーマ>

1実践テーマ	【 Ⅲ V 】
2実施対象者	2・3年生 学校設定科目「アスリート」選択者 51名 3年生 「音楽Ⅲ」選択者 46名
3展開の形式	学校における活動 教科名（ アスリートB アスリートC 音楽Ⅲ ）
4目 標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックそのものについての学びやオリンピック・パラリンピックを通じた学びにより、「スポーツの力」を実感させるとともに、一人一人に豊かな「スポーツごころ」を育み、2020年以降のスポーツ文化の広がりにつなげる。 ・世界を代表するアスリートから自己実現に必要な資質を知り、競技力向上と自己肯定感を高めるために、日頃からどのような考え方で生活することが大切かを学ぶ。また世界のトップレベルを知り、スポーツに関する関心を高める。
5取組内容	<p>概要：第2回全日本ブレイキン選手権で第2位となった本校卒業生の俣野斗亜選手を招き、講演を聞く。また、実技指導、パフォーマンスを実施してもらう。</p> <p>日時：令和2年12月22日(火)3,4限(10:20~12:10) 体育館</p> <p>事前学習：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で案内・説明 オリパラ事業の趣旨説明、俣野斗亜選手についての説明を行ない、事前アンケート調査を実施（スポーツ、ブレイクダンス、オリンピックへの関心、俣野選手への質問調査）し、質問は整理して、前日までに俣野選手に送付する。 <p>講演内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教室で前後左右間隔を空け、着席させ講演を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレイキンの特徴とルール、歴史と文化的背景、競技の要素や動きの名称、パリオリンピック種目決定について説明 ・自身の高校生活、競技者・社会人として必要なマインドセット、運をつかむ人間性について自身の経験をもとに講演。

- コロナ禍の中、どのように過ごしたか、仕事（パフォーマー）としての現状について説明。
- 質疑応答（当日の質問+事前質問）
仕事についてどのように考えるべきか、将来のためにどんな哲学を持つことが大切という話をしていただいた。

実技講習

- 体育館へ移動し、実技指導を受けた。簡単にできる技を選びながら、それぞれのグループを回り、直接指導をされた。



マイクを持ちながら動きの解説



逆立ちのコツを伝え、見事成功！



難度の高い技も指導をすればできるように



- 最後にパフォーマンスを見せていただき終了。



音楽に合わせてパフォーマンスを披露する TOA 選手

- 生徒代表からのお礼の言葉



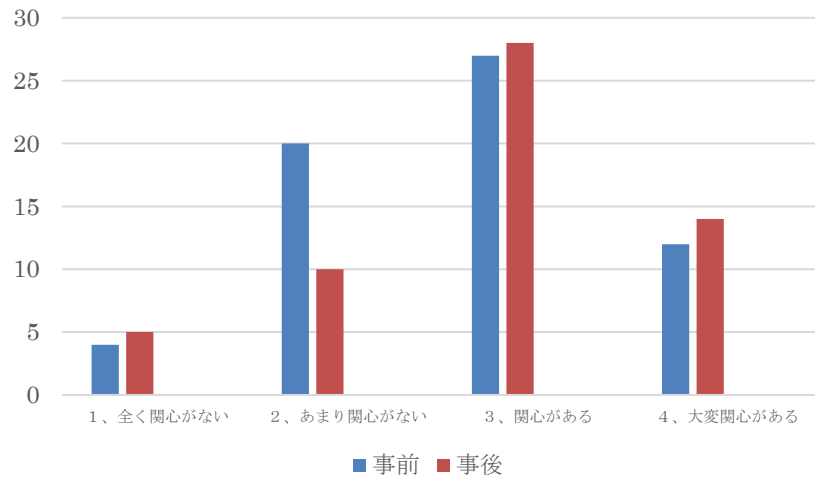
お礼の言葉を述べるサッカー部の生徒

事後学習：

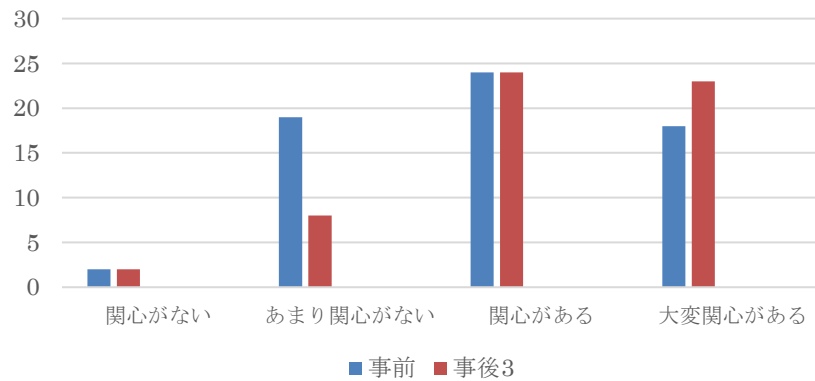
- 講演終了後（当日講演後もしくは翌日のガイダンス）に講演の感想、スポーツ、ブレイクダンス、オリンピックへの関心を聞く事後アンケートを実施した。

6 主な成果

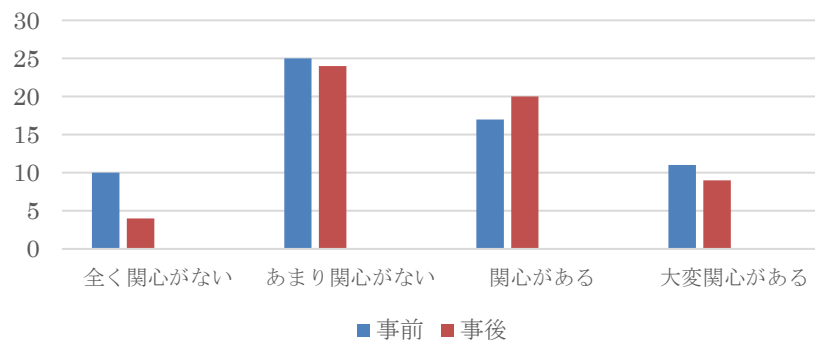
東京オリンピックに関心がありますか



スポーツに関心がありますか



ブレイクダンスに関心がありますか



事前アンケートと事後アンケートで、同じ質問に対する変化を見たところいずれの質問項目においても「あまり関心がない」というグループが減り、「関心がある」「大変関心ある」というグループに入った。

〈生徒の感想〉

ブレイクダンスもすごかったし、何よりも将来（進路）を選択するに当たっての考え方が参考になりました。（2年生女子）

ブレイクダンスを生で初めて見て、すごい迫力があって感動しました。一つ一つの技がとても難しくすごいと感じた。何か一つを極めて頑張っている人は、かっこいいなと思いました。（2年女子）

	<p>オリンピック種目になるのは初耳だったのでためになった。是非、南丹高校を背負って踊ってほしいです。(2年男子)</p> <p>間近でパフォーマンスを見て、プロのB-BOYの姿に圧倒されました。いつか競技のブレイキンを間近で見たいと思いました。(2年男子)</p> <p>迫力がすごくて見ている方はとても盛り上がりました。帰った後、TOAさんのブレイキン動画を見ました。(2年男子)</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対象としたグループは、本校強化部活動生、音楽選択者であった。部活動生も自身の部活動以外のスポーツには関心が低いことが見受けられる。音楽選択者を対象としたのは、ブレイクダンスが音楽と体の動きを合わせたスポーツであり、競技的な要素で発展していったのではなく、文化的な背景をもっているためそれを感じスポーツの見方を知ってもらうことを目的とした。 ・事前に侯野選手に対する質問を聞き、それを送付しておいて、当日答えてもらうことで、生徒に自分の質問に答えてもらっているという意識を持たせた。 ・実技体験を入れることで競技の難しさや体の扱い方の難しさを知ってもらいながら、実際に指導をしていただくことでうまく体が使いこなせる実感を持ってもらえるようにした。その上でパフォーマンスを見てもらえれば、体の使い方にも興味が出るのではないかと考えた。 ・パリオリンピック正式採用されてからすぐの講演ができるようにできた。タイムリーな競技であったのでオリンピックに意識を向けることができたと思う。本校の卒業生ということもあり、対応していただけた。
<p>8主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、コロナウィルス感染症のため予定していた活動ができなくなった。講師選択、受講の形態等にも配慮が必要であった。 ・オリンピック・競技への関心を持たせることは、1回の公演等のできるかもしれないが、実際にスポーツの見方やオリンピックが開催される意義等を感じさせることは難しいと感じた。
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校では部活動の活性化を目指していること、総合学科の中にスポーツ健康系列としてスポーツを中心に学ぶ教科があること、総合的な探究の時間において外部との連携を図ることから、スポーツ及びオリンピックへの関心を高める事業の重要性は大きい。 ・今年度とは取組内容は変わるとしても、継続して実施する方向である。